



ボーイスカウト枚方第2団

2014年 1月号

< VOL 315 >

かがり火

発行責任者 井上 清文

育成会長 義本 弘 導

明けまして おめでとうございます。

旧年中はお世話になり、ありがとうございます。皆様にはご健勝で新年をお迎えのことと存じ、お慶び申し上げます

新しい年には、パルクとアイロンのかかった制服を着て、きりっと巻いたネッカチーフを締めて迎いたいものですね。昔からスカウトは、そのネッカチーフの端に結び目を作りました。これはスカウト運動のスローガンである「日々の善行」を忘れないためにするもので、何か一つ善行をするとその結び目を解くのです。そして、その結び目を時々触って、何か善いことが出来ないかと考えたものです。

善行をするというのはいいことですし、大事なことです。しかし、注意しなければならないこともあります。仏教の根本の教えが説かれた『七仏通戒偈(しちぶつつうかいげ)』という短いお経があります。

諸悪莫作(しょあくまくさ)……諸々(もろもろ)の悪を作(な)すこと莫(なか)れ
衆善奉行(しゅぜんぶぎょう)……衆(もろもろ)の善を奉行し
自浄其意(じじょうごい)……自ら其(そ)の意(こころ)を浄くせよ
是諸仏教(ぜしよぶつきょう)……是れ諸仏の教えなり

このお経の意味は、悪いことをするな、善いことをせよということです。こんなこと誰でもわかっていることだと言われるでしょうが、肝心なのは「自浄其意」というところです。

こんな話があります。中国の白居易(白楽天)という詩人が若い頃に禅の道に進もうと、道林和尚(どうりんおしょう)を訪ねて、「仏教の根本の教えとは何か」と質問しました。そうすると、道林和尚は「諸悪莫作・衆善奉行」と答えられました。すると、白居易は「そんなことは3歳の子でも知っていますよ」というと、道林和尚は「3歳の子どもが知っていても、80の老人すらこれを実行することはむずかしいぞ!」と応じるのです。白居易は道林和尚の真意を知り、その後道林和尚の元で修行をされたということです。これは「知っていること」と「できること」はまったく異なることだということなのです。確かに知っていてもなかなか実行できるものではありません。電車に乗っていて席を譲ろうとする時も、譲ることが善いことだとはわかっているのですが、なかなか実行できません。なぜ出来ないのでしょうか。その時に色々考えてしまうのではないのでしょうか。どう声をかけたらいいだろうかとか、声をかけて断られたらどうしようとか、もしかしたら、替わってもらうほどの歳ではないと怒られないだろうかとか、周りはどう思うだろうかなどを考えてしまって、実行できなくなってしまうでしょう。

これは自分の行動にとらわれているからです。「自浄其意」の「浄」というのはとらわれないということなのです。このとらわれないということが難しいのです。どうでしょうか、思い立ったら、あれこれ考えずに、すっとできるでしょうか。

以前、桑名正博さんの講演会を聞いたことがあります。桑名さんは、車いすバスケットボールを支援されていました。そして、福祉についてもずいぶん活動された方でした。その話の中で、息子さんと町を歩いていて、車いすの人が坂道で困っている場面に遭遇した時に、息子さんに「ちょっと手伝おか」と言うと、息子さんは、「わかった」と言って、手伝ったと話しておられました。そこには迷いや気負いなどが微塵もない感じでした。これがまさに「自浄其意」なのです。善行をする時に、とらわれることなく実行し、その後も礼を求めたり、不足を言ったりしないことなのです。ネッカチーフの結び目を解く時に「自浄其意」の思いを持ちたいものです。

新 知 故 温 続

大阪スカウトクラブ発行「スカウティングの原点を探るシリーズ」より転載

<耳そばだてて 聴き正せ>

「スカウティング」誌巻頭言集

中 村 知

風 格

ルックワイド



シニアスカウトの標語として英国では“Look Wide”ということばをあげている。広く見よ……とか、視野を広くせよ……とかいう意味だとうけとられる。けれども、それは単に、かけ声だけにとどまらないことに気づく。

それは——スカウティングは、国内だけでなく、広く世界的にひろがった運動であるから、カブからローバーに至る課程（あるいは過程）のなかの、シニアの段階で、World Scouting についての勉強をすべきだという意味をこめていると解すのである。

この勉強のお手本は、B-P自身が身をもって示した。その年譜を一覧しただけでも1910年から1938年に至る28年間に、20回の海外旅行をしているのである。そしてそれは彼の方だめしであった。

自分の隊、自分の県、自分の国のスカウティングにだけ力を尽くし、思いをよせていればそれでよいというような、狭い心ではスカウティングの真の大きな姿を発見できないだろう。世界的な市民にはなれない。

われらは、わが国に欠けている広域スカウティングをもちあげねばならない。それは、今後の日本のシニアスカウティングのあり方のいかににかかっているのではなからうか？

「萬葉集」の1042に、天平16(744)年正月11日、市原王が大伴家持と活道(いくじ)岡に登った時に詠んだ一首として、

一つ松 幾代か歴(へ)ぬる 吹く風の
声の 清(す)めるは 年 深みかも
というのがある。

吹く風は、若木老木の別なく平等に吹いてゆくのだが、その風にそよいで、それらの木の枝や葉がかなでる音は様ではない。あるものは軽薄な音を発し、あるものは自己宣伝の声を出し、あるものは素直でない音を出す。不和雷同の叫びもあろう。これは音としては雑音である

たまたま、岡に登ったとき、心耳を洗うような、清く澄んだ松籟(しょうらい)をきいた。はっ、として見あげれば、それは、年を経た1本の老松である。幾十年の風雪に耐えたのかしらないが、それは磨きのかかった、そして長い年月、丹念に吹きこんだ楽器のようである——と、作者は、このような感動を詠んだものと思われる。

年輪をかさねたスカウターも、この老松のようにありたいものである。

これぞ、風格というものか！

若木の美しさは 育ちゆく強さにある
老樹の美しさは 風雪に耐えた
歴史にある

【1月各隊活動予定】

◇ ビーバー ◇

	1月19日(日)	1月26日(日)
タイトル	本派「報恩の集い」	こたえられるよ
時間	8:30~15:30	9:00~12:00
集合	枚方市駅ケーブルテレビ後	枚方市駅ケーブルテレビ後
場所	津村別院(北御堂)	御殿山生涯学習美術センター

◇ カブ ◇

『テーマ: お手つきなし』 《 目標: 目標達成する時の充実感を味わう 》
 [主な活動: カルタ大会]

	組 集 会	本派「報恩の集い」	隊 集 会
1組	別途連絡	1月19日(日)	1月26日(日)
2組	別途連絡	津村別院 8:30 枚方市駅集合	蹉跎生涯学習センター 第3集会室 9:30~12:00

※ リーダー集会 1月10日 10:00~ 本部

◇ ボーイ ◇

テーマ: 「およげボーイ隊!」 活動内容: 水泳
 活動目的: 健康と安全・水泳

集会種別	班集会		報恩のつどい	隊 集 会	班長会議
	タカ班	ハヤブサ班			
日 程	1月12日(日)	1月12日(日)	1月19日(日)	1月26日(日)	1月5日(日)
時 間	9:00~	9:00~	9:45~	9:30~	9:00~
場 所	淀川河川敷 (予定)	淀川河川敷 (予定)	津村別院 (北御堂)	ラポール ひらかた	御殿山美術 センター
備 考			8:30 枚方市駅集合		兼 GB訓練

◇ ベンチャー

1月12日(日)	1月19日(日)	1月26日(日)
選抜高校野球奉仕選考会	本派「報恩の集い」	大阪国際女子マラソン奉仕
	9:45 受付	
サプリ村野NPOセンター	津村別院	長居競技場及び周辺